

令和元年度 事業報告 目次

令和元年度 事業報告

I 作品	1
(1) 収集	1
(2) 展示	3
(3) 貸出	3
II 展覧会	4
(1) 企画展 荘司福・荘司貴和子展－院展の巨星・創画の新星	4
(2) 企画展 空間に線を引く－彫刻とデッサン展	6
(3) 特集展 所蔵品展 鳥海青児とその時代－半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》	8
(4) 企画展 安野光雅展 絵本とデザインの仕事	9
(5) 企画展 秋野不矩展	11
(6) 特集展 秋の所蔵品展 異界への扉	13
(7) 特集展 冬の所蔵品展－パフォーマンスする絵画	14
(8) 特集展 ロビー展 糸賀英恵展－うつろいのかたち	15
III 教育普及	16
(1) 令和元年度実施プログラム	16
(2) スクールプログラム	17
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	18
(4) アートカードの貸出	20
IV その他の事業	21
(1) 事業	21
(2) 団体向け研修・体験プログラム	22
(3) 博物館実習生及び職場体験	24
(4) 定例会議	24
(5) その他	24
V 施設利用者等の統計	25
(1) 展覧会	25
(2) 貸出施設	26
VI 施設の管理	27

令和元年度 事業報告

I 作品

(1) 収集

寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	泉谷淑夫	神話	2013 年	162.1×227.3	油彩・キャンバス
2	泉谷淑夫	幻視	2012 年	162.1×193.9	油彩・キャンバス
3	泉谷淑夫	悠久・昼の月	2008 年	162.1×227.3	油彩・キャンバス
4	大島 哲以	薔薇のカノン	1992 年	91.0×60.6	彩色・紙
5	大野 廣子	アフリカの印象	1988 年	177.0×378.0	彩色、箔・紙
6	大野 廣子	セネカからの便り	1981-86 年頃	195.0×220.0	彩色、箔・紙
7	鳥海 青児	牡丹	不詳	32.0×23.5	油彩・キャンバス

寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	青山 熊治	少女	1924 年	53.0×45.2	油彩・キャンバス
2	青山 熊治	木立	不詳	23.8×32.9	油彩・板
3	青山 義雄	バラの門	不詳	41.0×53.0	油彩・キャンバス
4	伊藤 清永	バラ	不詳	45.5×45.5	油彩・キャンバス
5	井上 三綱	胡弓	不詳	117.0×67.0	油彩・キャンバス
6	井上 三綱	たそがれ	1937 年	90.0×116.0	油彩・キャンバス
7	猪熊 弦一郎	海岸婦人	不詳	90.9×116.8	油彩・キャンバス
8	上野山 清貢	魚	1938 年	45.6×60.8	油彩・キャンバス
9	牛島 憲之	外房	不詳	37.9×45.4	油彩・キャンバス
10	牛島 憲之	春昼桃園	不詳	40.9×53.0	油彩・キャンバス
11	梅原 龍三郎	薔薇	不詳	71.0×60.0	油彩・紙
12	太田 三郎	椅子に座る婦人	不詳	149.0×129.0	油彩・キャンバス
13	岡 鹿之助	城門	1968 年	41.4×32.2	油彩・キャンバス
14	岡 鹿之助	サボテンとカラジウム	不詳	45.4×53.1	油彩・キャンバス
15	岡田 謙三	女	1940 年	41.0×31.8	油彩・キャンバス
16	岡田 謙三	女の顔	1937 年	45.8×33.8	油彩・キャンバス
17	岡田 謙三	セーヌ河	1937 年	41.2×53.2	油彩・キャンバス
18	岡田 謙三	鏡の女	1939 年	52.0×44.0	油彩・キャンバス
19	岡田 三郎助	越後の雪	1915 年	80.2×60.5	油彩・キャンバス
20	荻須 高德	モリエンバル	不詳	81.1×100.1	油彩・キャンバス
21	荻須 高德	シャルトルの大聖堂	不詳	91.7×65.0	油彩・キャンバス
22	小茂田 青樹	松林閑邸	不詳	113.0×33.0	彩色・絹
23	鏑木 清方	秋効小趣	不詳	41.0×47.0	彩色・プリント(複製)
24	北川 民次	南洋風景	不詳	37.1×44.3	油彩・紙
25	木下 孝則	食後	不詳	72.9×60.8	油彩・キャンバス
26	栗原 忠二	海(湖)	不詳	91.0×117.0	油彩・キャンバス
27	黒田 重太郎	漁村の春	1912 年	45.4×33.3	油彩・キャンバス
28	小糸 源太郎	ダリア	1962 年	80.5×65.6	油彩・キャンバス
29	小糸 源太郎	吉野山の桜	不詳	45.6×65.0	油彩・キャンバス
30	小糸 源太郎	田園調布雪景色	不詳	48.5×59.0	油彩・キャンバス
31	島崎 鶏二	静物	1939 年	53.0×41.0	油彩・キャンバス
32	鈴木 信太郎	静物(花束)	1934 年	73.0×144.0	油彩・キャンバス

33	高間 惣七	海水浴	1932 年	91.0×116.7	油彩・キャンバス
34	高山 辰雄	明けゆく	不詳	45.0×33.0	彩色・紙
35	田崎 廣助	阿蘇山	不詳	44.0×51.0	油彩・キャンバス
36	津田 正周	スイス風景	不詳	90.0×115.0	油彩・キャンバス
37	東郷 青児	花を持つ女	不詳	117.2×80.3	油彩・キャンバス
38	中川 一政	椿	不詳	56.5×46.0	彩色・紙
39	中山 巍	散歩	不詳	45.3×38.1	油彩・キャンバス
40	中山 巍	時計	1926 年	63.0×52.0	油彩・キャンバス
41	野口 弥太郎	出漁	不詳	26.9×35.1	油彩・板
42	野口 弥太郎	母と子	不詳	160.0×110.0	油彩・キャンバス
43	野間 仁根	志摩波切	不詳	45.2×53.2	油彩・キャンバス
44	橋本 関雪	牡丹	不詳	44.0×57.0	彩色・紙
45	林 倭衛	サン ヴィクトワール山	1929 年	72.5×116.6	油彩・キャンバス
46	林 倭衛	エールス風景	不詳	23.7×33.0	油彩・板
47	東山 魁夷	微風	不詳	43.0×50.0	彩色・紙
48	東山 魁夷	春暁	不詳	48.0×56.0	彩色・絹
49	東山 魁夷	雪嶺	不詳	33.0×46.0	彩色・紙
50	福沢 一郎	静物（花）	不詳	90.7×116.5	油彩・キャンバス
51	藤田 嗣治	マレー風景（カンボジャ風景）	1942 年	27.3×34.9	油彩・キャンバス
52	藤田 嗣治	千人針	不詳	17.5×23.5	水彩・紙
53	前田 寛治	薔薇	1928 年	45.0×37.0	油彩・キャンバス
54	前田 青邨	芍薬	不詳	67.0×76.7	彩色・紙
55	前田 青邨	ローマの使節	不詳	40.0×55.0	彩色・絹
56	前田 青邨	白梅・紅梅	不詳	25.0×28.0	彩色・紙
57	三岸 好太郎	海洋を渡る蝶	不詳	121.3×85.0	油彩・板
58	三岸 好太郎	旅愁	1934 年	121.5×85.0	油彩・板
59	三岸 節子	室内	不詳	121.0×85.0	油彩・キャンバス
60	南 薫造	箱根の秋	不詳	21.7×27.0	油彩・板
61	向井 潤吉	小豆島風景	不詳	70.5×114.5	油彩・キャンバス
62	山下 新太郎	内苑の菖蒲	不詳	37.9×45.7	油彩・キャンバス
63	山下 新太郎	延寿客	不詳	34.7×27.0	油彩・キャンバス
64	土田 泰子	けじめ～女人ルーティーン～	2016 年	60×50×30	櫛(プラスチック／ゴム つき針金
65	土田 泰子	革新の果実	2013 年	20.0×20.0×45.0	糸切りハサミ、エポキ シパテ、ステンレス、 ゴム、ラッカー塗料
66	森田 勝	立てる裸婦	1934 年	98.4×64.2	油彩・キャンバス
67	森田 勝	スペイン婦人	1935 年	90.6×64.2	油彩・キャンバス
68	森田 勝	アルジェの寺院	不詳	32.0×48.0	油彩・キャンバス
69	森田 勝	花の咲く海	不詳	42.6×52.0	油彩・キャンバス
70	森田 勝	ざくろ	不詳	36.6×44.6	油彩・キャンバス

(2) 展示

当館展覧会において下表のとおり、756 点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	荘司福・荘司貴和子展 - 院展の巨星・創画の新星	59 点	0 点	59 点
2	企画展	空間に線を引く - 彫刻とデッサン展	297 点	7 点	290 点
3	特集展	鳥海青児とその時代 - 半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》	95 点	89 点	6 点
4	企画展	安野光雅展 絵本とデザインの仕事	150 点	0 点	150 点
5	企画展	秋野不矩展	50 点	0 点	50 点
6	特集展	秋の所蔵品展 異界への扉	37 点	37 点	0 点
7	特集展	冬の所蔵品展-パフォーマンスする絵画	51 点	51 点	0 点
8	ロビー展	糸賀英恵展-うつろいのかたち	17 点	0 点	17 点
計			756 点	184 点	572 点

(3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり 28 点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofia/Wrightwood659, Chicago	TETSUYA ISHIDA, AUTORRETRATO DE OTRO 4 月 11 日～9 月 6 日/10 月 3 日～12 月 14 日	4 点	石田徹也『みのむしの睡眠』『鯉の夢』『コンビニエンスストアの母子像』『無題』（寄託作品）
2	武蔵野美術大学 大学美術館・図書館	内田あぐり展 5 月 20 日～6 月 16 日	2 点	内田あぐり・『私の前にいる、目を閉じている』（寄託作品）『白い着物の裸婦』
3	足利市立美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、町立久万美術館	空間に線を引く - 彫刻とデッサン展 - 6 月 16 日～7 月 28 日/8 月 10 日～9 月 23 日/10 月 5 日～12 月 8 日	5 点	保田春彦・『壁に沿うかたち』『弧の交わる壁』『立体』『立体』『立体』
4	東京ステーションギャラリー、山口県立美術館、名古屋市美術館	没後 90 年岸田劉生展 8 月 31 日～10 月 20 日／ 11 月 2 日～12 月 23 日／ 2020 年 1 月 8 日～3 月 1 日	17 点	岸田劉生『A の肖像』『F 氏像』（以上所蔵作品）、『童子煎茶』『調脂弄粉』『大連風景（路傍秋晴）』『棋道』表紙原画 12 点（寄託）
計			28 点	

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 荘司福・荘司貴和子展一院展の巨星・創画の新星

種 別	企画展
会 期	4月20日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	神奈川県立近代美術館、東御市梅野記念絵画館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
観覧者数	5,464人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)
 荘司福《刻》 1985年 神奈川県立近代美術館蔵  荘司貴和子《玄海の月》 1976年 東御市梅野記念絵画館蔵	

●内容

荘司福(1910-2002、松本市生)は、女子美術専門学校師範科日本画部(現女子美術大学)卒業後、結婚して仙台に移り住みます。1941年河北新報社が主催する東北美術展(現河北美術展)に初入選し画家として出発。1946年院展に初入選、日本美術院研究会会員となり、郷倉千靱の画塾・草樹社の塾員となり研鑽を積むと、次第に院展で頭角を現し、1964年同人に推挙されます。そして1967年以降仙台から千葉、東京を経て、横浜市に居を構えて画業の後半生を展開していきます。作品は、初期の構成的な群像表現から、朽ちてゆく物象のモチーフを経て、1960～70年代には中国やインド、カンボジア、エジプトやケニアなどに取材旅行し、仏教遺跡やオリエントの神々の造形に着想を得て壮大なイメージを展開。さらに自然物や自然景を対象とした根源的な世界観の表現へと移行しました。

荘司貴和子(1939-79、神戸市生)は、東京藝術大学日本画科を卒業後、高校で教えながら制作活動に取り組みました。1964年から新制作協会日本画部に出品を重ね、1973、74年には春季展賞を受賞して画家として頭角を現します。1974年に新制作協会を離脱した日本画部会員により創画会が結成されると、1978年まで創画展に出品し、連続して春季展賞を受賞。その後の活躍が期待されましたが、1978年初夏に病状が現れ、翌年腸癌のために39歳という若さで惜しまれながら死去します。旅先で見た自然や建物をモチーフにしたその抽象的な作品は、簡潔な構成の中に、どこか懐かしさを感じさせる情感と気品を漂わせ、見るものの心に迫ります。

1971年以降、義理の親子として一緒に取材旅行に出かけ、それぞれの違いを認めながら制作に励んだ二人は、互いの才能に尊敬の念をもって相対しました。本展では、92歳で没するまで人間や自然と真摯に向き合った荘司福と、若くして没したがゆえに広く知られることがなかった荘司貴和子の作品、併せて59点を紹介しました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：4月27日(土)、5月18日(土) 各回 14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計36人(6人、30人)

○講演会「福と貴和子ー絵描きと絵描き」

講師：莊司準氏(莊司福 御子息)

日時：6月1日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150人

参加者数 100人

(2) 企画展 空間に線を引く—彫刻とデッサン展

種 別	企画展
会 期	4月20日(土)～6月9日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	一般財団法人地域創造
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	44日
観覧者数	6,091人
担 当	土方明司(当館館長代理)、品川ちひろ(当館嘱託員)
 柳原義達《道標・鳩》1972年 三重県立美術館蔵  柳原義達《道標・鳩》1991年 碧南市藤井達吉現代美術館蔵	

●内容

彫刻家は素材にはたらきかけ、何もない空間に作品を表します。彫刻を制作するにあたり、自身のイメージを定着させるためデッサンを描く場合があります。彼らが描いたデッサンは魅力に富んでおり、画家のデッサンにはない美しさがあります。この美しさはどこから来るのでしょうか。

おおむね画家の絵は、三次元を二次元で表現します。一方、彫刻家のデッサンは二次元から三次元を目指します。対象が空間にどのように働きかけるかということが、常に彫刻家の念頭にあるからです。よって、彼らのデッサンは二次元でありながら、三次元とみなす感性のもと描かれています。紙面は空間であり、いわば空間に線を引く感性です。これらの線は、対象の存在感、ものの粗密を表現しているように見えます。これを可能としているのは彫刻家の「手」です。

彫刻家にとって、まず重要なのは触覚です。彫刻は視覚以前に触覚にうったえかける芸術です。彫刻家は触覚により作品を手がけます。画家と比べ彫刻家の手は、より触覚的です。彼らの手は描く以前に「触れる手」なのです。このような手によって描かれたデッサンはおのずと画家によるものとは異なります。彫刻家は空虚から対象をすくい出すかのように描きます。描くことがすなわち触れることであり、視覚と触覚の連動があります。これが彫刻家のデッサンの特異な点です。そこには、画家のデッサンにはない様々な要素が見出せることでしょう。本展はプロローグとして橋本平八から始め、具象、抽象の現代彫刻家19人のデッサンと、それに関連する彫刻を展示し、その魅力と創作の秘密に迫りました。

●関連事業

○出品作家によるリレーギャラリートーク

日時：4月20日(土) 15:00～16:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加作家：戸谷成雄氏、舟越桂氏、多和圭三氏、大森博之氏、青木野枝氏、三沢厚彦氏、
棚田康司氏、長谷川さち氏

参加者数：125人

○ギャラリートーク

(1) 江尻潔氏(足利市立美術館次長)VS 土方明司(当館館長代理)

日時：5月3日(金・祝) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：35人

(2) 三沢厚彦氏(彫刻家)VS 土方明司(当館館長代理)

日時：6月2日(日) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：80人

○棚田康司氏によるワークショップ

日時：4月27日(土)、28日(日) 各日 13:30～16:30 2回連続講座

場所：アトリエB

講師：棚田康司氏(彫刻家)

対象：親子(小中学生) ※要申込

参加者数：18人

○三沢厚彦氏によるワークショップ

日時：5月25日(土)、26日(日) 各日 10:00～16:30 2回連続講座

場所：アトリエB

講師：三沢厚彦氏(彫刻家)

対象：15歳～一般 ※要申込

参加者数：15人

(3) 特集展 所蔵品展 鳥海青児とその時代一半世紀ぶりの公開《瀬戸の山》

種 別	特集展
会 期	6月29日(土)～9月23日(月・祝)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月3日(土)～8月18日(日)は開館時間を1時間延長
休 館 日	月曜日 ※7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)、9月16日(月・祝)、 9月23日(月・祝)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	75日
観覧者数	13,844人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)
 鳥海青児《瀬戸の山》 1941年 当館蔵  鳥海青児《ピカドール》 1958年 当館蔵	

●内容

鳥海青児（ちょうかいせいじ、1902-1972）は、平塚を代表する油彩画家です。関西大学在学中の1924年に春陽会に初入選し、やがて本格的な絵画研究を目指して1930年渡欧すると、ゴッホ、レンブラントらの作品に強い関心を寄せました。1933年に帰国すると春陽会会員に推され、渡欧で培われた造形思考をもとに、日本の風土に根ざした堅固な表現を目指して制作活動を展開しました。1943年独立美術協会に移り、以降、同会を活動の場とします。はじめフォービズムの影響のもと自然の重厚さを描く風景画家として出発した鳥海は、日本のみならず、中国、エジプト、イラン、インド、ペルー、メキシコなど世界各地に取材し、モチーフを静物、人物、建造物、遺跡などに広げます。西洋のみならず東洋の古美術への深い造詣により、モチーフの形態を単純化して描く、象徴的なリアリズムを追求するとともに厚塗りのマチエールを駆使して、ヨーロッパの借り物でない独自の表現を追求しました。

開館以来、鳥海の顕彰に努めてきた当館では、タブロー、デッサン等をあわせると160点を超える作品を有し、その画業を間断なく追うことができます。今般、鳥海の戦前の作である《瀬戸の山》（1941年）が新たに収蔵されました。1971年に開催された鳥海生前の最後の自選展以来、48年ぶりとなる作品の公開を記念して、鳥海青児の画業を振り返りつつ、交友のあった画家たちの作品を紹介しました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

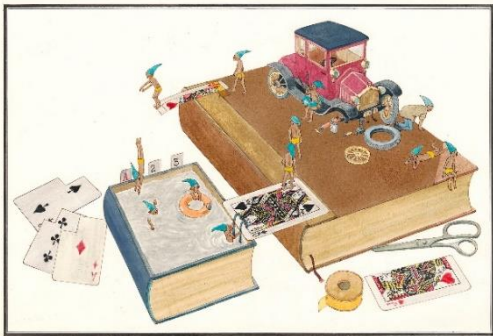
日時：7月27日(土)、8月24日(土) 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計30人(15人、15人)

(4) 企画展 安野光雅展 絵本とデザインの仕事

種 別	企画展
会 期	7月6日(土)～8月25日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	津和野町立安野光雅美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで) ※8月3日(土)～8月18日(日)は開館時間を1時間延長
休 館 日	月曜日 ※7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
観覧者数	20,525人
担 当	江口恒明(当館学芸員)



安野光雅《ふしぎなえ》8, 9p 1968年



安野光雅《天動説の絵本》28, 29p 1979年

●内容

1968年に『ふしぎなえ』で絵本デビューをした安野光雅は、画家、絵本作家、装丁家、デザイナーなど幅広く活躍し、国際アンデルセン賞をはじめ、国内外でさまざまな賞を受賞しています。

安野光雅の作品は、俯瞰的な構図を用いながら細部まで丁寧に描かれており、まるで、出身地・島根県津和野の町を周囲の山々から一望し、人々の暮らしの一コマを描き留めているように感じられます。作家にとって、子どもの頃を過ごした津和野は大切な思い出として心の中にあり、大切にはぐくまれた思い出が絵本の世界に投影されています。親しみやすさとノスタルジーにあふれた絵本は、今なお多くの人々を惹きつけてやみません。

多数の絵本を世に出してきた安野光雅ですが、美術のみならず数学や文学にも造詣が深いことでも知られています。その豊かな知識と想像力で多くの不思議や謎解きを作品に詰め込んでいます。驚きと発見に満ちた絵本も安野の魅力といえるでしょう。

また、絵本以外にも文芸書や数学書などの挿絵や表紙を描いたり、エッセイや画文集を出版するなど、その作品は多岐にわたります。

本展覧会では、安野光雅の仕事を語る上では切り離せない絵本の原画はもちろんのこと、絵本そのものや挿絵や装丁した本、ポスターなど、初期から現在までの安野光雅の世界の全貌を紹介しました。

●関連事業

○講演会「安野光雅の世界」

日時：7月13日(土) 14:00～15:30

場所：ミュージアムホール ※申込不要、先着順

講師：大矢鞆音氏（津和野町立安野光雅美術館 館長）

参加者数：122人

○学芸員によるギャラリートーク

日時：7月28日(日)、8月17日(土) 各回 14:00～14:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計116人(66人、50人)

○ワークショップ「本づくりに挑戦！～親子で製本体験～」

日時：7月24日(水) 13:30～16:30

場所：アトリエB

講師：上島明子氏（美篤堂）、石田亮一氏（本づくり協会）

対象：親子(小中学生) ※要申込

参加者数：9組17人

○ワークショップ「おしぱいをあそぶ～人形劇を体験しよう～」

日時：8月18日(日) 10:00～16:00

場所：アトリエA・B

講師：高橋奈巳氏（人形劇団ひとみ座）

対象：小学生 ※要申込

参加者数：21人

(5) 企画展 秋野不矩展

種 別	企画展
会 期	10月5日(土)～12月1日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	浜松市秋野不矩美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
助 成	公益財団法人朝日新聞文化財団
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般 800 円、高大生 500 円
開催日数	50 日
観覧者数	7,284 人
担 当	勝山滋(当館学芸員)
 《朝の祈り》1987 年  《ラージャラーニー寺院Ⅱ》1995 年	

●内容

秋野不矩(あきのふく、1908-2001)は現在の静岡県浜松市に生まれた女性画家です。1930年から官展への人物画出品を経て、1948年に日本画の革新をめざす美術団体「創造美術」(現・創画会)の結成に参加。1962年に現・タゴール国際大学(西ベンガル州・シャンチニケタン)での日本画客員教授としてインドに渡ると、その後生涯で14回インドに訪問し、その印象を創画展や個展などで発表し、高く評価されました。作品にはインド特有の強烈な日差しや暑さ、雨季に一変する川の様子、さらに力強く生きる人々が描かれるとともに、その根底には伝統的な岩絵の具の技術があり、また近代絵画としてのモダンで斬新な構成があって我々を魅了します。

その目覚ましい活躍は毎日芸術賞(1986年)、日本芸術大賞(1993年)、文化勲章受章(1999年)へと結実しました。また戦後は絵本原画も精力的に制作しています。

本展は、県内では2008年に神奈川県立近代美術館葉山館で開催されて以来11年ぶりとなる回顧展で、インドに取材した代表作など50点により、そのおおらかで気高い画業の高みを紹介しました。

●関連事業

○講演会「秋野不矩を語る」

日時：11月2日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、先着150人

講師：藤森照信氏(建築家)

参加者数：141人

○学芸員によるギャラリートーク

日時：10月5日(土)、10月19日(土)、11月16日(土)、11月30日(土) 各日14:00～14:40

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計155人(29人、30人、38人、58人)

○ワークショップ「インドのろうけつ染め・バティックを体験しよう」

日時：11月23日(土・祝) 10:00～12:00

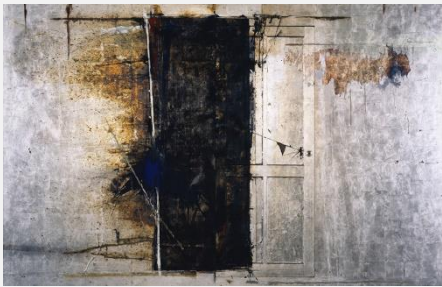
場所：アトリエB

講師：島村智子氏(SUNNY BATIK)

対象：小学生～一般(小学3年生以下は要保護者同伴) ※要申込

参加者数：20人

(6) 特集展 秋の所蔵品展 異界への扉

種 別	特集展
会 期	10月5日(土)～12月8日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休) は開館し、翌火曜日休館
観 覧 料	一般 200 円、高大生 100 円
開催日数	56 日
観覧者数	6,821 人
担 当	江口恒明(当館学芸員)
 山本直彰《Door S-2》1995 年  工藤甲人《春を呼ぶ》1971 年	

●内容

「異界」とは人々の日常世界や生活世界の外側にあると考えられている世界をさす言葉です。

「異界」といったとき、あの世や神仏の住む世界を想像するかもしれません。そうした世界は、日本の美術においても古くから絵画化されてきました。妖怪や鬼の登場する絵巻物をはじめ、桃源郷や仙界を理想の世界として描いた作品もあります。

自分の生活圏から離れ、時間的・空間的な広がりをもつ言葉としてとらえると、山の中や海の中、遠い海外、あるいは現在とは隔たる過去や未来も異界ということができるでしょう。

人間の内部に封じ込められた意識や人間のもつ闇も同様です。近代に入ると人間の内面を描く表現主義やシュルレアリスムが登場してきます。これらは人間の内なる異界を描いたものといえます。

また、異界は相対的なことばでもあります。その境い目はあいまいで、日常世界に浸食してきたり、ふとしたことで異界に踏み入ってしまうような場所となっています。

本展では、「異界」をキーワードにして所蔵作品を紹介します。生と死や意識と無意識が重なりあう「境界」と、想像上の生き物や風景、あるいは神仏や仙界を描いた「異界の風景」という観点から見していきます。常ならざるものや人ならざるものの表現をお楽しみいただきました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：10月26日(土)、11月23日(土) 各回14:00～14:30

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計40人(15人、25人)

(7) 特集展 冬の所蔵品展—パフォーマンスする絵画

種 別	特集展
会 期	12月14日(土)～2月24日(月・振休)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日 ※1月13日(月・祝)、2月24日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館 年末年始(12月29日(日)～1月3日(金))
観 覧 料	一般 200 円、高大生 100 円
開催日数	58 日
観覧者数	3,169 人
担 当	江口恒明(当館学芸員)
 海老原喜之助《曲馬》1935 年頃  小関利雄《蛙の五月祭》1986 年	

●内容

人間の身体表現には、ダンスや演劇といった非日常の空間をつくりだすものから、生活上の単純な動作まで、さまざまな種類を考えることができます。古くは神に捧げる儀礼のシーンを象った彫像や、祝祭や演劇の場面を描いた壁画などで非日常の空間を表現してきました。時代が近代になると、人々の日常生活も表現の対象となります。人間の身体は、時代や国をこえて芸術家にとってインスピレーションの源となってきました。

本展では、歌う・踊る・演じる・装う・祈るなど、身体表現をあらわすことばを導きの糸とし、荒寥とした大地で樹木が空に向かって歌う様子を描いた工藤甲人《樹木のうた》、小田原市根府川の祭礼を描いた高良眞木《鹿島踊》、宗教的な祈りの姿を表現した清水敦次郎《老人と髑髏》、濱谷浩《若木に祈る》など、テーマにそって作品をご鑑賞いただきます。

あわせて、昨年 2018 年度に新たに収蔵された作品のコーナーを設け、日本画・彫刻など 29 点を展示します。作品の中には、昨年 7 月に開催した深堀隆介展を契機に購入された《桜升 命名 淡紅》も含まれます。また、自分の家の中で起こる出来事を日記のように描きとどめている石井礼子の寄託作品 20 点も紹介します。石井礼子の作品は「パフォーマンスする絵画」につながる表現といえます。当館の所蔵品からさまざまな身体のパフォーマンスの表現を紹介しました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：1月18日(土)、2月9日(日) 各日14:00～14:30

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

参加者数：計 26 人 (14 人、12 人)

(8) 特集展 ロビー展 糸賀英恵展—うつろいのかたち

種 別	特集展
会 期	12月14日(土)～4月5日(日) ※3月3日～3月31日、4月4日(土)、4月5日(日)は臨時休館
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日 ※1月13日(月・祝)、2月24日(月・振休)は開館し、翌火曜日休館 年末年始(12月29日(日)～1月3日(金))
観 覧 料	無料
開催日数	66日
観覧者数	3,491人
担 当	勝山滋(当館学芸員)
 《月に磨く》2012年  《沈丁花》2011年	

●内容

糸賀英恵（いとがはなえ、1978—）は横浜に生まれ、現在相模原で制作する女性作家です。多摩美術大学、および同大学院をへて、行動展に出品し個展やグループ展で活躍しています。

糸賀の制作テーマは「うつろう生命に潜む美を探る」ことで、銅板を鍛金の技法で加工しながら、季節や時間のうつろいの中に潜む生命の美を表現しています。

糸賀が用いる「銅」は、太古から神器として、また暮らしに近しい道具として日本古来から人々の営みを映してきた普遍的な素材といえます。一方、糸賀による柔らかく優しいラインは銅の硬く重いイメージに反して空間の広がりや彫刻的な量感と動きを表しています。

ロビー展の舞台となるテーマホールは外光がふりそそぎ、時とともに様相が変化する大空間です。うつろう陽光のなかで立ちあらわれる糸賀英恵の作品世界をご堪能ください。

●関連事業

○作家によるギャラリートーク

日時：12月14日(土) 14:00 ～ 14:40

場所：テーマホール ※申込不要

講師：糸賀英恵氏（鍛金作家）

参加人数：28人

○ワークショップ「錫（すず）でバングルを作ろう」

日時：3月7日(土) 10:00-11:00、13:00-14:00

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止

Ⅲ 教育普及

(1) 令和元年度実施プログラム

20 プログラムを実施 参加者数：1,011 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	遊んでのびのび赤ちゃんアート春 (連続講座)	富田めぐみ※1	4月25日(木) 5月9日(木) 6月6日(木)	500円	親子(1歳～2歳3か月の未就園児)	24組 50人
2	木でおうちを作ろう！	棚田康司(彫刻家)	4月27日(土) 4月28日(日)	1,000円	親子(小・中学生)	8組 18人
3	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	5月19日(日)	なし	小・中学生	23人
4	レリーフを作る	三沢厚彦(彫刻家)	5月25日(土) 5月26日(日)	1,000円	15歳～一般	15人
5	東海大学協働事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう	河野孝博(東海大学教授)、 原田里糸(同大学講師)	6月1日(土)	500円	中学生～一般	12人
6	おうちの窓を天の川にしよう！ 星とカササギの七夕モビール作り	依田梓(美術家)	6月30日(日)	600円	親子(小・中学生)	17人
7	遊んでのびのび赤ちゃんアート夏 (連続講座)	富田めぐみ※1	7月4日(木) 8月1日(木) 9月5日(木)	500円	親子(1歳～2歳3か月の未就園児)	23組 43人
8	体験アートセラピー 親子でパステルワーク ～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子(アートセラピスト)	7月6日(土)	200円	親子(小・中学生)	8組 18人
9	親子で製本体験～本作りに挑戦！～	上島明子(美篤堂) 石田亮一(本づくり協会)	7月24日(水)	1,200円	親子(小・中学生)	9組 17人
10	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士・保育教諭	7月27日(土)	なし	未就学児	36組 112人
11	中高生ボランティアとオリジナルグッズを作ろう！！	中学生・高校生ボランティア23人	8月2日(金) 8月3日(土) 8月4日(日)	50円	3歳～一般	296人
12	作ってあそぼう わくわくランド	市内保育士・保育教諭	8月17日(土)	なし	未就学児	43組 131人
13	おしばいをあそぶ ～人形劇を体験しよう～	高橋奈巳(人形劇団ひとみ座)	8月18日(日)	1,500円	小学生	21人
14	体験アートセラピー 大人のための「心をほぐす」パステルアート	福山恵美子(アートセラピスト)	10月5日(土)	300円	中学生～一般	19人
15	元気にのびのびキッズアート (連続講座)	富田めぐみ※1	10月3日(木) 11月7日(木) 12月5日(木)	500円	親子(2歳半～4歳の未就園児)	22組 53人
16	インドのろうけつ染め・バティックを体験しよう	島村智子(SUNNYBATIK)	11月23日(土)	2,000円	小学生～一般	20人
17	銅版画講座 メゾチントでカードをつくる	城戸宏(版画工房主宰)	12月1日(日)	2,300円	中学生～一般	12人
18	キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ※1	12月19日(木)	なし	親子(3歳～小学生まで)	9組 18人
19	遊んでのびのび赤ちゃんアート 冬 (連続講座)	富田めぐみ※1	1月9日(木) 2月6日(木)	500円	親子(1歳～2歳3か月の未就園児)	24組 50人
20	銅版画講座 エッチング&アクアチントに挑戦！！ (連続講座)	城戸宏(版画工房主宰)	1月12日(日) 1月19日(日)	1,500円	中学生～一般	12人

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
21	陶芸講座	百田輝（陶芸家）	2月2日（日） 2月16日（日） 2月23日（日）	1,000円	中学生～一般	20人
22	0歳からの鑑賞ツアー	富田めぐみ※ ¹	2月5日（水）	なし	親子（0歳～2歳）	12組 25名
23	東海大学協働事業 ことばをかたちにしてみよう～自分の世界を閉じ込めて～	東海大学芸術学科インターン生	2月9日（日）	100円	小学生	9人
24	錫でパングルを作ろう	糸賀英恵（鍛金作家）	3月7日（土）	1,000円	小学生～一般	中止※ ²
25	バックヤードツアー	当館学芸員	3月21日（土）	なし	中学生～一般	中止※ ²
26	銅線・アルミ線を使った『いけばな体験』	糸賀英恵（鍛金作家） 永井裕造（華道家）	3月29日（日）	1,500円	5歳～一般	中止※ ²

※1NP0 法人赤ちゃんからのアートフрендシップ協会代表理事

※2 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

（２）スクールプログラム

●児童・生徒向けプログラム

14プログラムを実施 参加者数：317人

担当：江口恒明（当館学芸員）、久保田知美（当館嘱託員）、品川ちひろ（当館嘱託員）、雲中あみ（当館嘱託員）、福田真由美（当館嘱託員）

NO	学校名	内容	実施日	参加者数
1	神奈川県立平塚盲学校	「空間に線を引くー彫刻とデッサン展」観覧・レクチャー	5月14日（火）	12人
2	星槎国際高等学校 湘南学習センター 美術ゼミ	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	7月3日（水）	18人
3	神奈川県立藤沢清流高等学校	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー・バックヤード	7月12日（金）	6人
4	小田原市立白山中学校	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月19日（金）	14人
5	小田原市立城北中学校	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月20日（土）	16人
6	大磯町立大磯中学校	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月20日（土）	14人
7	藤沢市立長後中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月25日（木）	20人
8	平塚市立浜岳中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月26日（金）	22人
9	小田原市立泉中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月28日（日）	19人
10	小田原市立千代中学校 美術部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月30日（火）	15人
11	平塚市立土屋小学校	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	9月13日（金）	20人
12	神奈川県立平塚盲学校	「所蔵彫刻作品」観覧・レクチャー	1月21日（火）	2人
13	平塚市立中原小学校	「所蔵品展 パフォーマンスする絵画」観覧・レクチャー	1月29日（水）	77人
14	横浜市立緑園東小学校	「所蔵品展 パフォーマンスする絵画」観覧・レクチャー	2月20日（木）	62人

●教員向けプログラム

8 プログラムを実施 参加者数：122 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	先生のための美術鑑賞広場 (彫刻とデッサン展)	当館学芸員・嘱託員	5 月 5 日(日)	小・中・高・特別支援学校の教職員	7 人
2	伊勢原市小学校教育研究会研修	当館学芸員・嘱託員	7 月 23 日(火)	伊勢原市小学校教員	20 人
3	平塚市小学校教育研究会図工部研修	当館嘱託員・ひらびあ一つま〜れ 16 人	8 月 2 日(金)	平塚市小学校教育研究会図工部の教員	28 人
4	中堅教諭等資質向上研修 社会体験研修の受け入れ	当館嘱託員	7 月 31 日(水) 8 月 2 日(金) 8 月 3 日(土) 8 月 4 日(日)	平塚市内小・中・高・特別支援学校の教員	2 人
5	先生のための美術鑑賞広場 (安野光雅展)	当館学芸員・嘱託員	8 月 7 日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員	18 人
6	先生向け体験講座「光で描く！私の世界〜フォトグラムの制作〜」	浅見俊哉(美術家・写真作家)	8 月 14 日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員	21 人
7	厚木愛甲地区小学校教頭会研修	当館嘱託員	8 月 21 日(水)	厚木愛甲地区小学校教頭教諭	22 人
8	伊勢原市中学校美術科研究部会研修	当館嘱託員	8 月 23 日(金)	伊勢原市中学校美術科教諭	4 人

●保育園鑑賞ツアー等

5 プログラムを実施 参加者数：85 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、品川ちひろ(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	中高生ボランティアとオリジナルグッズを作ろう!! プレ	当館嘱託員	7 月 31 日(水)	ボランティア参加希望者	23 人
2	保育園鑑賞ツアー (南原保育園)	富田めぐみ※	11 月 15 日(金)	南原保育園年長組の園児と引率保育士	12 人
3	保育園鑑賞ツアー (しらさぎ保育園)	富田めぐみ※	12 月 3 日(火)	しらさぎ保育園年長組の園児と引率保育士	20 人
4	保育園鑑賞ツアー (吉沢保育園)	富田めぐみ※	12 月 4 日(水)	吉沢保育園年長組の園児と引率保育士	12 人
5	保育園鑑賞ツアー (大神保育園)	富田めぐみ※	1 月 16 日(木)	大神保育園年長組の園児と引率保育士	18 人

※NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

市内小・中学生及び一般来館者を対象に対話による美術鑑賞やボランティア育成のための研修を実施しました。

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館嘱託員)、雲中あみ(当館嘱託員)、福田真由美(当館嘱託員)

●小学生を対象に対話による美術鑑賞

10 校 24 クラスを実施 参加者数：685 人

NO	学校名	講師	実施日(上段：事前授業、 下段：来館)	学年	クラス数	参加者数
1	みずほ小学校	ひらびあ一つま〜れ 13 人	5 月 28 日(火) 5 月 29 日(水)	6 年	3 クラス	91 人
2	金目小学校 五領ヶ台分校	ひらびあ一つま〜れ 5 人 ひらびあ一つま〜れ 5 人	10 月 1 日(火) 10 月 10 日(木)	6 年	1 クラス	8 人

3	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ 9 人	10 月 3 日(木)	4 年	2 クラス	63 人
		ひらびあ一つま〜れ 9 人	10 月 9 日(水)			
4	大原小学校	ひらびあ一つま〜れ 7 人	10 月 16 日(水)	4 年	2 クラス	49 人
		ひらびあ一つま〜れ 11 人	10 月 29 日(火)			
5	松原小学校	ひらびあ一つま〜れ 14 人	11 月 6 日(水) 11 月 7 日(木)	3 年	3 クラス	84 人
		ひらびあ一つま〜れ 9 人	11 月 14 日(木)			
6	中原小学校	ひらびあ一つま〜れ 9 人	11 月 12 日(火)	6 年	2 クラス	59 人
		ひらびあ一つま〜れ 10 人	11 月 20 日(水)			
7	横内小学校	ひらびあ一つま〜れ 20 人	11 月 26 日(火) 11 月 27 日(水)	6 年	3 クラス	75 人
		ひらびあ一つま〜れ 20 人	12 月 6 日(金)			
8	松が丘小学校	ひらびあ一つま〜れ 6 人	1 月 15 日(水)	4 年	2 クラス	46 人
		ひらびあ一つま〜れ 9 人	1 月 22 日(水)			
9	城島小学校	ひらびあ一つま〜れ 8 人	1 月 17 日(金)	6 年	1 クラス	37 人
		ひらびあ一つま〜れ 9 人	1 月 24 日(金)			
10	花水小学校	ひらびあ一つま〜れ 29 人	2 月 12 日(水) 2 月 13 日(木) 2 月 14 日(金)	6 年	5 クラス	173 人
		ひらびあ一つま〜れ 29 人	2 月 18 日(火) 2 月 19 日(水)			
11	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ**人	3 月 6 日(金)	2 年	2 クラス	※

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止

●中学生を対象に対話による美術鑑賞

1 校 5 クラスを実施 参加者数：183 人

NO	学校名	講師	実施日	学年	クラス数	参加者数
1	大野中学校	ひらびあ一つま〜れ 16 人	6 月 18 日(火) 6 月 19 日(水)	1 年	5 クラス	183 人

●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞

12 プログラムを実施 参加者数：123 人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加者数
1	絵を見て発見！4月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 8 人	4 月 21 日(日)	17 人
2	絵を見て発見！5月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 4 人	5 月 26 日(日)	9 人
3	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 1 回目	ひらびあ一つま〜れ 7 人	7 月 23 日(火)	13 人
4	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 2 回目	ひらびあ一つま〜れ 12 人	7 月 30 日(火)	14 人
5	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 3 回目	ひらびあ一つま〜れ 13 人	8 月 6 日(火)	11 人
6	絵を見て発見！夏のおしゃべり美術館 4 回目	ひらびあ一つま〜れ 14 人	8 月 20 日(火)	17 人
7	絵を見て発見！9月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 8 人	9 月 15 日(日)	3 人
8	絵を見て発見！10月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 6 人	10 月 20 日(日)	4 人
9	絵を見て発見！11月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 7 人	11 月 17 日(日)	13 人
10	絵を見て発見！12月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 6 人	12 月 15 日(日)	5 人
11	絵を見て発見！1月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 5 人	1 月 19 日(日)	11 人
12	絵を見て発見！2月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ 6 人	2 月 16 日(日)	6 人
13	絵を見て発見！3月のおしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ**人	3 月 28 日(土)	※

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止

●ボランティア育成のための研修

21 プログラムを実施 参加者数：221 人

NO	講座名	講師	実施日	参加者数
1	実践研修 1 回目(1～4 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	4 月 9 日(火)	8 人
2	自主研修 1 回目(1～4 期)	田辺梨絵 (ARDA)	4 月 24 日(水)	8 人
3	自主研修 2 回目(1～4 期)	当館学芸員、当館嘱託員	5 月 11 日(土)	7 人
4	体験会 1 回目	当館学芸員、当館嘱託員	5 月 15 日(水)	13 人
5	実践研修 2 回目(1～4 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	5 月 21 日(火)	13 人
6	自主研修 3 回目(1～4 期)	当館学芸員、当館嘱託員	6 月 4 日(火)	3 人
7	体験会 2 回目	当館学芸員、当館嘱託員	6 月 8 日(土)	10 人
8	実践研修 3 回目(1～4 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	6 月 22 日(土)	10 人
9	実践研修 4 回目(1～4 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	7 月 20 日(土)	13 人
10	自主研修 4 回目(1～4 期)	当館学芸員、当館嘱託員	7 月 30 日(火)	8 人
11	基礎研修 1 回目(5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	9 月 7 日(土)	15 人
12	基礎研修 2 回目(5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	9 月 14 日(土)	15 人
13	実践研修 1 回目(5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	10 月 25 日(金)	8 人
14	実践研修 2 回目(5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	1 月 18 日(土)	9 人
15	アートカード研修 1 回目	桑原和美 (ARDA)	11 月 22 日(金)	11 人
16	アートカード研修 2 回目	桑原和美 (ARDA)	12 月 7 日(土)	9 人
17	合同研修(1～5 期)	当館学芸員、当館嘱託員	12 月 18 日(水)	19 人
18	実践研修 3 回目(5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	1 月 18 日(土)	8 人
19	実践研修 4 回目(5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	2 月 8 日(土)	8 人
20	合同研修(1～5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	2 月 21 日(金)	17 人
21	実践研修 5 回目(5 期)	三ツ木紀英 (ARDA)	3 月 20 日(金)	9 人

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行いました。

貸出実績：6 件 58 セット

IV その他の事業

(1) 事業

●七夕飾り

会期：6月30日(日)～7月16日(火)

主催：平塚市美術館

内容：平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビール作り」で制作した七夕飾りを展示しました。ワークショップ講師、参加者の方々と一緒に飾りつけ、来館者の目を楽しませました。

展示指導：依田梓氏(美術家)

場所：テーマホール ※自由観覧



●こども年賀状とおとな絵手紙展

会期：1月7日(火)～1月13日(月・祝)

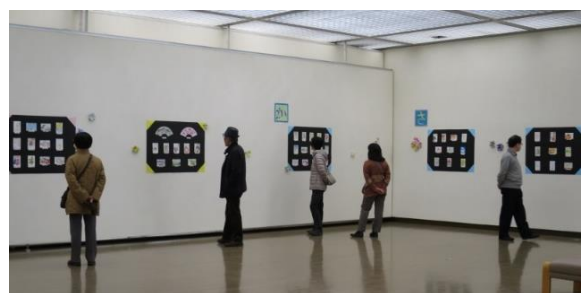
主催：平塚市美術館

内容：美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度の開催から数えて、今回で11回目となりました。

場所：市民アートギャラリーB室

作品数：249点

入場者数：271人



●ミュージアムコンサート

開催日時：2月15日(土) 14:00～15:00

主催：平塚市美術館

内容：平塚市出身のジャズボーカリストの沢田千果さんをお迎えし、スタンダードジャズの演奏会を開催しました。曲目は、「A列車で行こう」、「テネシーワルツ」、「上を向いて歩こう」等。

参加者数：140人



●第42回 平塚市展

会期：3月8日(日)～3月22日(日)

主催：平塚市展委員会

内容：地域の芸術文化の高揚と推進を図ることを目的とし、昭和53年から開催されている公募展。

場所：展示室I、市民アートギャラリー

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止

(2) 団体向け研修・体験プログラム

19プログラムを実施 参加者数：494人

NO	団体名	内容	実施日	参加者数
1	平塚市南ブロック公民館	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	5月15日(水)	14人
2	ズシッブ連合会	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	5月28日(火)	23人
3	梅野記念絵画館友の会	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	6月2日(日)	20人
4	NPO 法人入間市文化創造ネットワーク	「荘司福・荘司貴和子展」観覧・レクチャー	6月7日(金)	40人
5	平塚市文化・交流課(高山市)	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	7月5日(金)	42人
6	平塚市文化・交流課(花巻市)	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	7月7日(日)	30人
7	伊勢原市小学校教育研究会	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー・アートカードゲーム	7月23日(火)	22人
8	市民活動団体 平塚MAC	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	7月23日(火)	19人
9	平塚市小学校教育研究会 図工部	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	8月2日(金)	24人
10	東海大学教務課	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	8月2日(金)	48人
11	南ブロック公民館	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	8月3日(土)	38人
12	大和市立西鶴間小学校	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	8月8日(木)	5人
13	平塚市立横内公民館他北ブ	「所蔵品展 鳥海青児とその時代」観覧・レクチャー	8月9日(金)	40人

NO	団体名	内容	実施日	参加者数
	ロック 5 館			
14	よこすか文庫連絡会	「安野光雅展」鑑賞・レクチャー	8 月 20 日(火)	15 人
15	平塚市産業振興課	「秋野不矩展」観覧・レクチャー	10 月 24 日(木)	25 人
16	NHK 文化センター前橋教室	「秋野不矩展」観覧・レクチャー	11 月 8 日(金)	25 人
17	平塚市北ブロック公民館	「秋野不矩展」観覧・レクチャー	11 月 12 日(火)	20 人
18	滋賀県立近代美術館友の会	「秋野不矩展」「秋の所蔵品展 異界への扉」観覧・レクチャー	11 月 21 日(木)	25 人
19	藤沢エデンの園 あるこう会	「秋野不矩展」観覧・レクチャー	11 月 28 日(木)	19 人

(3) 博物館実習生及び職場体験

●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生4人(4大学)を受け入れ、6月から12月まで実習を実施しました。

●職場体験の受け入れ

市内の中学生が現場で仕事を実際に体験することで、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択に繋がるよう、8校28人の職場体験受け入れを実施しました。

NO	学校	内容	実施日	参加者数
1	平塚市立大洋中学校	館の概要講義及び業務体験	11月7日(木)	4人
2	平塚市立山城中学校	館の概要講義及び業務体験	11月7日(木)	3人
3	平塚市立神明中学校	館の概要講義及び業務体験	11月8日(金)	4人
4	平塚市立金目中学校	館の概要講義及び業務体験	11月8日(金)	4人
5	平塚市立旭陵中学校	館の概要講義及び業務体験	11月12日(火)	4人
6	平塚市立春日野中学校	館の概要講義及び業務体験	11月14日(木)	2人
7	平塚市立金旭中学校	館の概要講義及び業務体験	11月15日(金)	3人
8	平塚市立大野中学校	館の概要講義及び業務体験	11月20日(水)	4人

(4) 定例会議

●美術館協議会

○委員(敬称略)8人

吉村維元(学識経験者)、靱山昌夫(学識経験者)、牛久保浩一(学校教育関係者)、林孝之(学校教育関係者)、阿部満佐子(学校教育関係者)、内田尚子(社会教育関係者)、鈴木喜明(社会教育関係者)、大野知子(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

○開催日・議題 第1回 8月7日(水) 平成31(令和元)年度事業報告及び事業予定について
第2回 3月18日(水) 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

●美術品選定評価委員会

○委員(敬称略)5人

猿渡紀代子(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)、原田光(学識経験者)

○開催日 2月4日(火)

(5) その他

8月3日(土)から8月18日(日)の午後6時まで、開館延長を実施しました。開館延長時間中の観覧者数は企画展「安野光雅展 絵本とデザインの仕事」が114人、特集展「鳥海青児とその時代—半世紀ぶりの公開〈瀬戸の山〉」が356人でした。

また、「即位礼正殿の儀」慶祝事業として、10月22日(火)は観覧料を無料としました。当日の観覧者数は、企画展「秋野不矩展」が153人、特集展「秋の所蔵品展 異界への扉」が138人でした。

V 施設利用者等の統計

(1) 展覧会

●観覧者数

月	R 元 (H31) 年度				H30 年度				H29 年度			
	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計
4 月	25 日	1,461 人	-	1,461 人	26 日	2,132 人	-	2,132 人	26 日	5,693 人	-	5,693 人
5 月	27 日	6,374 人	-	6,374 人	27 日	7,372 人	-	7,372 人	26 日	23,502 人	-	23,502 人
6 月	26 日	3,720 人	108 人	3,828 人	26 日	6,807 人	-	6,807 人	26 日	20,666 人	-	20,666 人
7 月	26 日	7,289 人	4,825 人	12,114 人	26 日	16,633 人	13,453 人	30,086 人	26 日	4,200 人	3,848 人	8,048 人
8 月	27 日	13,236 人	8,149 人	21,385 人	27 日	42,429 人	32,934 人	75,363 人	27 日	9,538 人	7,944 人	17,482 人
9 月	25 日	-	762 人	762 人	27 日	7,310 人	5,575 人	12,885 人	26 日	250 人	704 人	954 人
10 月	27 日	1,996 人	1,793 人	3,789 人	26 日	6,046 人	4,732 人	10,778 人	26 日	6,710 人	-	6,710 人
11 月	26 日	4,913 人	4,452 人	9,365 人	26 日	7,519 人	5,572 人	13,091 人	26 日	8,953 人	-	8,953 人
12 月	24 日	375 人	1,530 人	1,905 人	25 日	-	1,992 人	1,992 人	24 日	-	2,355 人	2,355 人
1 月	24 日	-	2,718 人	2,718 人	24 日	-	3,506 人	3,506 人	24 日	-	3,544 人	3,544 人
2 月	25 日	-	2,826 人	2,826 人	24 日	-	3,406 人	3,406 人	25 日	-	3,437 人	3,437 人
3 月	1 日	-	57 人	57 人	24 日	-	2,067 人	2,067 人	27 日	-	1,601 人	1,601 人
4 月	3 日	-	105 人	105 人	6 日	-	109 人	109 人	7 日	-	21 人	21 人
計	286 日	39,364 人	27,325 人	66,689 人	314 日	96,248 人	73,346 人	169,594 人	316 日	79,512 人	23,454 人	102,966 人

●学校観覧

		R 元 (H31) 年度						H30 年度						H29 年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数
小学校	市内	6 校	369 人	29 人	7 校	352 人	28 人	8 校	357 人	35 人	9 校	408 人	42 人	2 校	164 人	10 人	3 校	104 人	15 人
	市外	8 校	403 人	26 人	10 校	567 人	39 人	14 校	477 人	39 人	13 校	831 人	53 人	11 校	498 人	28 人	5 校	297 人	18 人
中学校	市内	4 校	41 人	10 人	3 校	40 人	12 人	4 校	39 人	9 人	7 校	57 人	22 人	20 校	468 人	54 人	4 校	32 人	10 人
	市外	14 校	189 人	20 人	13 校	175 人	19 人	15 校	221 人	26 人	14 校	218 人	25 人	14 校	228 人	49 人	10 校	187 人	19 人
高等学校		7 校	73 人	21 人	5 校	75 人	28 人	15 校	145 人	42 人	8 校	82 人	24 人	6 校	95 人	35 人	7 校	113 人	37 人
計		39 校	1,075 人	106 人	38 校	1,209 人	126 人	56 校	1,239 人	151 人	51 校	1,596 人	166 人	53 校	1,453 人	176 人	29 校	733 人	99 人

(2) 貸出施設

※令和2年3月3日（火）から3月31日（火）まで、新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館したので各施設利用はありません。

●市民アートギャラリー

	R元(H31)年度			H30 年度			H29 年度		
月	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4月	25日	6団体	2,822人	24日	7団体	3,262人	24日	4団体	2,995人
5月	26日	7団体	4,089人	30日	7団体	4,401人	30日	7団体	5,930人
6月	24日	7団体	4,038人	24日	7団体	3,936人	24日	7団体	5,311人
7月	29日	5団体	2,951人	30日	7団体	6,176人	20日	5団体	3,536人
8月	24日	6団体	4,300人	24日	5団体	10,033人	29日	7団体	4,860人
9月	23日	6団体	3,463人	25日	7団体	3,613人	23日	6団体	4,293人
10月	26日	6団体	3,188人	29日	5団体	4,280人	32日	6団体	4,589人
11月	25日	6団体	7,650人	26日	5団体	7,177人	24日	7団体	9,331人
12月	12日	3団体	1,456人	12日	3団体	1,622人	12日	3団体	2,568人
1月	24日	5団体	4,830人	27日	7団体	5,807人	27日	6団体	4,859人
2月	19日	5団体	3,829人	18日	5団体	3,910人	19日	6団体	3,219人
3月	-	-	-	25日	3団体	3,498人	29日	3団体	2,434人
計	257日	62団体	42,616人	294日	68団体	57,715人	293日	67団体	53,925人

●ミュージアムホール

	R元(H31)年度			H30 年度			H29 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	3日	3団体	235人	8日	8団体	523人	6日	6団体	477人
5月	-	-	-	1日	1団体	40人	-	-	-
6月	9日	9団体	825人	4日	4団体	305人	7日	7団体	518人
7月	2日	2団体	185人	3日	3団体	102人	1日	1団体	40人
8月	-	-	-	-	-	89人	-	-	-
9月	5日	5団体	270人	7日	7団体	369人	6日	6団体	366人
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月	3日	3団体	160人	7日	7団体	530人	2日	2団体	190人
12月	9日	9団体	680人	10日	10団体	813人	12日	12団体	1,000人
1月	3日	3団体	265人	4日	4団体	315人	5日	5団体	398人
2月	1日	1団体	50人	2日	2団体	200人	7日	7団体	539人
3月	-	-	-	10日	10団体	676人	8日	8団体	630人
計	35日	35団体	2,670人	57日	57団体	3,962人	54日	54団体	4,158人

●アトリエ

	R元(H31)年度			H30 年度			H29 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	3日	3団体	30人	1日	1団体	7人	1日	1団体	5人
5月	2日	2団体	18人	3日	3団体	87人	3日	3団体	13人
6月	4日	4団体	44人	6日	6団体	242人	2日	2団体	32人
7月	4日	4団体	53人	3日	3団体	30人	1日	1団体	7人
8月	3日	3団体	57人	4日	4団体	101人	3日	3団体	60人
9月	3日	3団体	28人	4日	4団体	35人	1日	1団体	5人
10月	5日	5団体	309人	8日	8団体	261人	6日	6団体	227人
11月	5日	5団体	100人	4日	4団体	30人	2日	2団体	16人
12月	2日	2団体	17人	2日	2団体	18人	7日	7団体	225人
1月	11日	3団体	214人	9日	4団体	351人	10日	3団体	171人
2月	4日	4団体	64人	5日	5団体	35人	1日	1団体	5人
3月	-	-	-	3日	3団体	31人	3日	3団体	110人
計	46日	38団体	934人	52日	47団体	1,228人	40日	33団体	876人

VI 施設の管理

●防災訓練

実施日時：11 月 22 日（金） 8:50～9:20

内容

- ・火災発生時の対応（通報・初期消火・避難誘導）
- ・消火栓取扱訓練
- ・展示準備室からの避難経路の確認

想定：受付チラシ置場から火災が発生し、火災報知器が火災を感知する。警備員が現場に急行し、火災発生を現認して事務所に報告する。

初期消火活動を行うとともに、消防に通報し、来館者の避難誘導を行う。

●臨時休館

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、令和 2 年 3 月 3 日（火）から 3 月 31 日（火）まで臨時休館しました。